

がん化学療法プロトコール

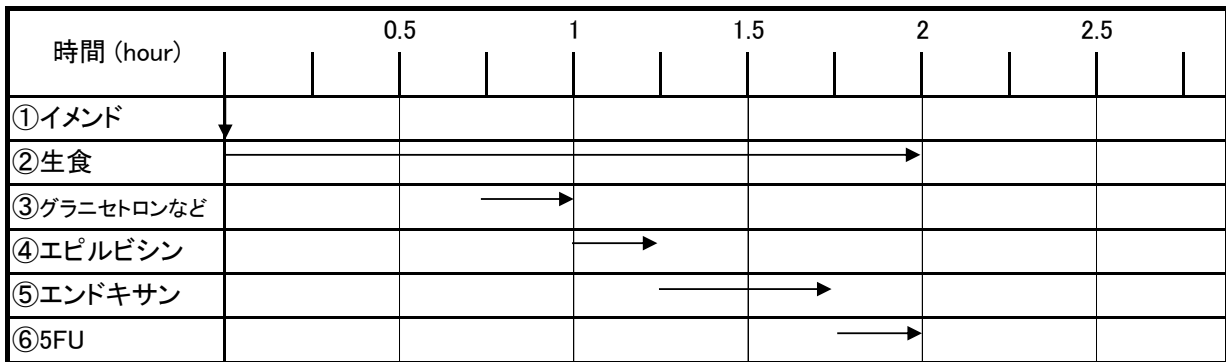
氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **FEC100療法**  
 対象疾患 乳がん  
 診療科 \_\_\_\_\_  
 施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			エピルビシン投与60分前に、1日目を服用
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	デキサート	9.9mg/3mL (3A)		混注	15分かけて点滴静注
	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)			
④	エピルビシン	100mg/m <sup>2</sup>		生食 50mL	15分かけて点滴静注
⑤	エンドキサン	500mg/m <sup>2</sup>		生食 100mL	30分かけて点滴静注
⑥	5FU	500mg/m <sup>2</sup>		生食 50mL	15分で点滴静注

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

1クール21日間。術後補助療法の場合は、合計で4回行う。エピルビシンは総投与量900mg/m<sup>2</sup>まで。

4 特記事項

・ エピルビシンは総投与量900mg/m<sup>2</sup>まで。  
 ・